

自然観察さんぽのおすすめ アカメガシワ

ご近所の道端でこんな木が生えてきているのを見たことがありますか？



新芽がやけに赤い！

葉は大きくて、むかし食べ物を載せたという柏の葉の代わりに使えそう・・・この木の名前は「アカメガシワ（赤芽柏）」

この木、なぜか道端でよく目立ちます。その理由は・・・

この木のタネは土の中で長い年月眠っていることができますが、それがカンカン照りの暑さの刺激で発芽するから、森の中ではなく道端など日当たりの良いところに生えることが多いのです。せっかく芽生えても、道端だから刈られてしまったり大木にはなれませんが、刈られても切られても、また春には芽を出します。根元に何度も切られた跡はありませんか？けっこうな頑張り屋さんです。運良く育つことができれば大きな木になります。

それにしてもこの新芽、赤いですねえ～。

光合成するためには葉っぱはみどりでなくてはなりません。



新芽がこんなに赤いのはなぜ？

自然観察の「なぜ？」には二つの答えがあると思います。

- ① 人が観察や研究して分かる理由
（科学的なしくみ）
- ② 自然その本人に聞いてみればわかる理由
（生き物や植物にとっての事情）

- ① は葉の赤いところをルーペで拡大してみる、こすってみる、などで分かるかな？是非試してみてください。
- ② アカメガシワに聞いたら「新芽は赤ちゃんの皮膚と同じでデリケートだから、直射日光がきつすぎるので日焼け止め効果をねらって赤い毛をはやしました」と答えるかも。

ちなみにアカメガシワの葉には密腺があり、甘いもの好きのアリに蜜をあげる代わりに、パトロールをお願いしているようです。思惑通りアリは来ているのでしょうか？

